

こんにちは!

民生委員児童委員です



委員としてできること 「寄り添い」そして「つなぐ」 ～民生委員活動を振り返って～

高島 幸代
(元・民生委員児童委員)
開成町民生委員児童委員協議会



私は新任の頃、家族のように寄り添い支援したいと使命感に燃えていました。しかし定例会の中で、ある事業について「これは民生委員としてやることなのか」と先輩委員が発言されました。その時は「なんて薄情なの…」と思いましたが、活動をしていくうちに「何でもすることは本人のためではなく、また公平性や継続性を考えると民生委員としてはどうなのか。時間を問わず、誰にでも、いつまでも直接支援活動をしていたら、民生委員自身が疲弊してしまう」と思うようになりました。



定例会の様子

そこで2期目ごろからは「民生委員として何ができるのか」ということを常に自分に問いながら活動するように努めました。例えば民生委員が支援者の現金の支払いをしたり、通院のため車に乗せたりする事は、トラブルが発生することなども考えられるので、直接は行わず関係機関のサービスなどの利用につなぎました。また買い物に困難な方には、町民児協で「買い物お助けリスト」を作成して対応に備えました。

幸いにも関係機関である町社協が民児協の事務局を担い、包括支援センターも受託しているため、相談やサー

ビス利用にとつなぎやすいです。

町の福祉課や子ども子育て支援室など、様々なつなぎ先の専門職にもお願いしました。対応の結果をフィードバックしてもらえると、支援者との関係がスムーズになるので大変助かります。

また開成町は自治会活動が盛んです。民生委員は担当の自治会での福祉行事、災害時要援護者登録制度の運用などに協力しています。その時に民生委員活動について理解を得たり、地域の人々と顔見知りになったり、そこから地域の実情が分るなど、様々な気付きがありました。

民生委員としてできる事は限られているかもしれませんが、委員同士が協力し合い、様々な機関と連携して地域の人々を見守り、寄り添ってきた活動を振り返ると、大きな充実感と安堵を感じています。

神奈川県で一番小さな「町」。そんな開成町は年々人口が増えていきます。昨年は約200人増。うち約半数が65歳以上高齢者でした。平成22年4月に町内2つ目の小学校が開校し、平成30年には新たな自治会が組織される予定です。地域の変化も早く、様々な課題が浮き彫りになってきました。現在ある13自治会すべてに「福祉部」が組織され、委員の皆様も福祉部と連携して活動しています。

県内ではあまり多くありませんが、事務局は町社協が担っています。委員の皆様が活動しやすいように取り組んでいきたいと思えます。

開成町民生委員児童委員協議会

民生委員制度は、平成29年で100周年を迎えます。左上のマークは、100周年シンボルマークです。

高齢者や身体の不自由な方の為の【緊急通報サービス】を当社では格安で提供しております。関心のある方や希望される方はお気軽にお問い合わせ下さい。

京浜警備保障株式会社

代表取締役社長 **岡本 誠 一 郎**

本 社 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町5番地10 金港ビル4F内
☎(045)461-0101 代表 FAX(045)441-1527

一般社団法人

神奈川県福祉研究会

福祉施設経営相談室 税務・会計の専門相談員

理 事 伊藤 正孝(☎045-412-2110)

同 辻村 祥造(☎045-311-5162)

同 西迫 一郎(☎046-221-1328)

同 林 雄一郎(☎0466-26-3351)

代表理事 八木 時雄(☎042-773-9266)

あなたの情報発信のおてつだい
デザイン・印刷・ホームページ制作



きかんし印刷

株式会社 神奈川県紙印刷所

〒238-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12

営業部 TEL045(785)1700(代) FAX045(784)8902

制作部 TEL045(785)1788 FAX045(780)1588

http://www.kki.co.jp/